



高崎

JAEA-TTTnews

技術移転ニュース

No.21 平成19年12月7日発行

地域資源活用型研究開発事業採択される 高崎研のハイドロゲル作製技術を活用

平成19年度地域資源活用型研究開発事業(経済産業省)において、高崎研で研究開発したセルロースゲルを用いた「越前和紙の技法とセルロースゲル等を活用した低収縮性和紙の開発」が8月2日付で採択になりました。これは、福井の伝統工芸品である越前和紙の伸び・縮みを吸水性のセルロースゲルで抑制し、寸法安定性の優れた高機能な和紙を開発するものです。高崎研の新規開発技術と伝統工芸品の組み合わせにより、新しいタイプの和紙の製品化に向けて、産学官が一体となり開発研究が行われます。

* 地域資源活用型研究開発事業は、経済産業省が地域において産学官連携により新産業・新事業を創出することを目的とした提案公募型の地域技術開発事業です。



材料開発に役立つ放射線加工技術講習会 in Takasaki 2007開催

9月6日、7日に高崎研では、一般企業への技術移転を促進するため「材料開発に役立つ放射線加工技術講習会 in Takasaki 2007」を開催しました。この講習会には、2日間で延べ27名が参加し、1日目には「グラフト重合技術講習」、2日目には「橋かけ技術講習」を行いました。



実験風景

グラフト技術講習では、不織布への金属捕集機能や消臭機能の付与についての実験を、橋かけ技術講習では、生分解性ハイドロゲルの作製やポリエチレンの耐熱性改善の実験を行いました。この2日間の講習を通し、放射線加工技術に関する様々な意見交換が行われ、技術移転を促進する貴重な機会となりました。

技術移転活動

- 9月12～14日：イノベーションジャパン 2007 (東京国際フォーラム)
- 11月27～28日：アグリビジネス創生フェア 2007 (東京国際フォーラム)
- 11月28～30日：2007産学官技術交流フェア (東京ビックサイト)
- 11月30日：産学官連帯フェスタ (前橋市商工会議所)



植物由来弾性ゲルのプレゼンテーション (イノベーションジャパン2007)

オープンセミナー

平成19年10月17日

「先端加速器技術によるガン治療への挑戦」

日本原子力研究開発機構 産学連携推進部 技術移転課(高崎)

窓口：笠井昇 〒370-1292 高崎市綿貫町1233

TEL:027-346-9812 FAX:027-346-9381

E-mail: takasaki-transfer@jaea.go.jp

http://www.taka.jaea.go.jp